

1. 科目名（単位数）	福祉と経営Ⅱ（2単位）	3. 科目番号	SBMP1131
2. 授業担当教員	古市 吉輝		
4. 授業形態	テキストの内容を基にして、ケーススタディーについて受講生によるディスカッションを行う。	5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・他科目との関係	「福祉と経営Ⅰ」が受講済みであることを原則とする。		
7. 講義概要	春期の「福祉と経営Ⅰ」ではテキストに基づいて基礎知識を学んだ。本講義では、この基礎知識を前提として、福祉(介護)業界における経営課題をいかにして解決するかについて、ケーススタディーを中心にグループディスカッションを通じて全員で考えていく。グループディスカッションを踏まえて考えたことについては必ず次週までにレポートとして提出すること。		
8. 学習目標	・福祉(介護)業界における経営課題の解決策を具体的に考えることができるようになる。 ・自分の考えを自分の言葉で発表し、他人が理解できるように伝えることができるようになる。		
9. アサシメント（宿題）及びレポート課題	1. 主体的に学習を行う上での基本となるので、各自学習課題にそって事前学習・事後学習を進めること。 2. 15回の講義の中で4回福祉経営に関するアサシメント（レポート）を課す。 【レポート課題】（各課題について1,000字以上） (1) 介護保険制度の創設と介護保険制度の仕組みについて述べなさい。 (2) 介護経営における人材戦略（人材確保と定着、人材育成、リーダーシップ）について述べなさい。 (3) 福祉介護サービスの質の平準化とISO9001認証制度について述べなさい。 (4) これからの介護業界と質の高い介護経営の実現について述べなさい。		
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】 (社)日本介護福祉経営人材教育協会監修、馬場博編『はじめて学ぶ介護福祉のマネジメント』（介護福祉経営士入門研修テキスト）日本医療企画、2015。 【参考書】 馬場博監修、介護経営の未来を考える委員会『現場リーダーのための介護経営のしくみ〔改訂版〕』日本医療企画、2014。 山縣文治・岡田忠克編『よくわかる社会福祉（第10版）』ミネルヴァ書房、2016。（社会福祉入門テキスト） 土方千代子・椎野裕美子『経営学の基本がきっちりと理解できる本』秀和システム、2012。（経営学テキスト） 岡田広司『現代マネジメント概論』（現代経営学基礎講座Ⅰ）あるむ、2011。		
11. 成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の規準 1. ケーススタディーやグループディスカッションにおいて、積極的に発言し、議論に参加していたか 2. 4つのレポート課題につき、それぞれのテーマに対して、経営課題の解決策を具体的に考えることができるか ○評定の方法 授業への積極的参加度 20％ レポート 80％（4つのレポートについてそれぞれ20％）		
12. 受講生へのメッセージ	1. 授業中にスマホ操作・私語・居眠りの多い者は教壇最前列に座らせる等、担当教員の厳格な指導下におく。 2. 本講義は、春期の「福祉と経営Ⅰ」を学習していることを前提として、発展的な論点についてケーススタディーを中心にしたグループディスカッションを行う。基礎知識がない状況でディスカッションをしても表面的な議論しかできないため、「福祉と経営Ⅰ」での学習内容をよく復習しておくこと。 3. グループディスカッションを行う上で、注意しなければならないことは、他人の意見を否定するのではなく、肯定的に捉え、建設的な議論を全員で作りに上げていくことである。日本の企業社会は、1人のスター選手ではなく、多くの普通の人たちによるチーム戦に価値を見出すことが多く、コミュニケーション能力の高さが求められるからこそ、就職活動においてもグループディスカッションが重視される。 4. 就職の際には、日本の企業社会では当然の常識とされている「報・連・相」（仕事内容を具体的に文書で提出する報告書、ビジネスメールを含めた上司への連絡、仕事を進めていくための上司や同僚とのディスカッション〈相談〉）ができるかについて試される。そのためにも、ビジネス文書を書く能力とコミュニケーション能力を向上させることが必須である。 5. 本学の授業スタイルはコミュニケーション能力を高めることに有効な双方向対話型の授業であり、レポートは文書作成能力の向上に効果がある。 以上のことを理解した上で、積極的に授業に参加することを意識すること。		
13. オフィスアワー	授業中に通知する。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	福祉と経営Ⅰの総復習	事前学習	福祉と経営Ⅰで学んだことを復習する。
		事後学習	福祉と経営Ⅰで学んだことを再確認する。
第2回	高齢化の進展と介護サービス市場の動向	事前学習	テキスト pp. 3～6 の予習をする。特に図1-1、図1-2、図1-3 表1-1及び事前配布資料をよく読んでくること。
		事後学習	高齢化が進展する日本の将来を考え、介護サービス市場の動向、介護保険の給付・保険料推移など経営の現状を確認しておく。
第3回	介護保険施設・事業所の経営	事前学習	テキスト pp. 7～16 の予習をする。特に、表1-2、表1-3、表1-4、図1-5、図1-6をよく読んでくること。
		事後学習	介護保険施設や事業所経営の現状、収支状況との関連性を理解して、自分の考えをまとめる。

第 4 回	地域包括ケアと介護保険サービス	事前学習	テキスト pp. 17～27 の予習をする。特に、図 1-8～図 1-11 及び表 1-6、表 1-7 をよく読んでくること。
		事後学習	地域包括ケアシステムを確認し、地域での役割を把握し、地域包括ケアにおける介護保険サービスを理解する。
第 5 回	介護人材と介護職員	事前学習	テキスト pp. 28～33 の予習をする。特に、図 1-12、図 1-13、及び図 1-14 をよく読んでくること。
		事後学習	介護人材の担い手と介護職員の重要性を理解し、人材の総合的な確保策を考察しまとめる。
第 6 回	介護サービスの多様性	事前学習	テキスト pp. 34～44 の予習をする。特に、表 1-8～表 1-11、及び図 1-15、図 1-16 をよく読んでくること。
		事後学習	介護サービスの供給主体の多様性を把握し、各種法人の組織と経営を理解する。
第 7 回	介護サービスの利用者と供給者	事前学習	テキスト pp. 45～49 の予習をする。特に、社会福祉法第 75 条～第 77 条、及び事前配布資料をよく読んでくること。
		事後学習	介護サービス提供における利用者と供給主体の関係を理解し、社会福祉ビジネスの進展の可能性を考える。
第 8 回	介護保険制度	事前学習	テキスト pp. 51～67 の予習をする。特に、図 2-1～図 2-5、及び表 2-1～2-7 をよく読んでくること。
		事後学習	これまでの介護保険制度の改正過程を理解し、今後、本制度が発展するための課題とその意義を考える。
第 9 回	介護サービス事業の経営資源 「人」、「もの（サービス）」	事前学習	テキスト pp. 68～78 の予習をする。特に、表 2-8 及び表 2-9 をよく読んでくること。
		事後学習	介護サービス事業経営において経営資源の重要性を理解し、事業が発展する上での「人」「もの」の役割を考える。
第 10 回	介護サービス事業の経営資源 「金」	事前学習	テキスト pp. 79～87 の予習をする。特に、表 2-10、表 2-11 及び図 2-6、図 2-7 をよく読んでくること。
		事後学習	介護サービス事業経営において経営資源の「金」について理解し、介護サービス事業の発展のための「金」について考える。
第 11 回	介護福祉サービスにおける行政の役割	事前学習	テキスト pp. 88～95 の予習をする。特に、表 2-12～表 2-14 及び図 2-8～図 2-10 をよく読んでくること。
		事後学習	介護福祉サービスにおける「国」、「地方自治体」など行政の役割を理解し、介護保険制度における保険者の業務をまとめる。
第 12 回	介護福祉サービス業経営の要素	事前学習	テキスト pp. 97～128 の予習をする。特に、図 3-1～図 3-11 をよく読んでくること。
		事後学習	介護福祉サービス事業経営に必要な 6 つの要素を理解し、総合的に要点を整理する。
第 13 回	マネジメントとリーダーシップ	事前学習	テキスト pp. 128～145 の予習をする。特に、表 3-1～表 3-3、表 4-1～表 4-5、及び図 4-1 と図 4-2 をよく読んでくること。
		事後学習	介護福祉事業に必要なマネジメントを理解し、チームケアに求められるリーダーのマネジメントスキルを整理する。
第 14 回	社会の貢献する組織	事前学習	テキスト pp. 146～160 の予習をする。特に、図 4-3～図 4-8 をよく読んでくること。
		事後学習	社会に貢献する組織として、業務改善の継続性、事業の成長サイクルの構築、事業目標や戦略の重要性を理解し整理する。
第 15 回	最終まとめ	事前学習	事前配布資料をよく読んでくること。
		事後学習	ここまで学んだことを整理し、福祉と経営の関係について自分の考えをまとめる。